

政務活動費活動報告（研修）

- (1) 研修名：第9回全国市議会議長会研究フォーラム
(2) 参加者：田中 滋康（市民の会）
(3) 日時・場所：平成26年8月6日（水）12時30分～17時00分
同 7日（木）9時～15時15分
岡山市シンフォニーホール（岡山市北区表町1-5-1）
主催：全国市議会議長会 後援：総務省

【1. 研修目的】

過日、日本創生会議から「人口減少による自治体の消滅」というショッキングな発表があった。これを主宰する増田寛也氏が基調講演をされるということで、是非とも直接お話しを伺い、どうしてそういう結論になるのか、その根拠を知りたかった。

また、20年が経過した今日の分権改革の実態について、及び、これに対峙する地方議会の在り方について、現状を分析し、議員としての対処の仕方を学ぶことも意図した。

【2. 結果報告】

(1) 内容

<第1日目> 8月6日（水）

第1部 基調講演 「人口減少時代と地方議会の在り方」

東京大学客員教授・野村総合研究所顧問
増田寛也氏

第2部 パネルディスカッション 「分権改革20年と地方議会の在り方」

コーディネーター	明治大学教授	牛山久仁彦氏
パネリスト	関西学院大学教授	林宜嗣氏
	元志木市長	穂坂邦夫氏
	龍谷大学准教授	土山喜美枝氏
	NHK解説副委員長	城本勝氏
	岡山市議会議長	則武宜弘氏

<第2日目> 8月7日（木）

課題討議 「議会の在り方について」の論点

コーディネーター	作研究大学院大学副学長	横道清孝氏
事例報告者	流山市議会議長	海老原功一氏
	可児市議会議長	河上文浩氏
	津市議会前議長	高橋健二氏

現地視察 岡山市の代表的名所の誘客策についてボランティアガイドに説明を受けつつ、後楽園・岡山城・オリエン特美術館の三か所を巡った。

(2) 考 察

地方自治体は、いかにして若年人口の東京一極集中に歯止めをかけるか、そのための具体的な政策の示唆があった。しかし、その主眼は地方中枢拠点都市をイメージしたものであり、そのまま鵜呑みにすることはできないと思った。一方、地方の大学をどう魅力あるものにするか、若者に魅力のある自治体とするために、地域資源を活かした基盤作りや人を呼び込む魅力作り、それに加え、都市高齢者の地方への住み替えを支援し、UターンやIターンを促進する策にも取り組むことが人口増には求められるとの講演に共感した。

分権改革20年を経た地方議会の在り方については、これまで多くは議員定数の削減に見られる如く、経費節約型の議会改革が進められてきた。しかし、議員の仕事の内容とセットで判断すべきである。多様な住民の意見を代表して構成される議会は政策を提案し、活動内容を住民に見えるように可視化に努める改革を急がねばならない。議会は、意見の相違はあっても、自治体の方向性を決める案件などは議員間の十分な議論の上、議会としての集約に努め、オール議会力、オール地域力を以て、執行部に迫れば首長は無視できない。このような活動を通してこそ議会力が発揮できるのではないか、という点は参考になった。

本市も進めている市民に開かれた議会へのアプローチは全国的に見ても急速に進んでおり、議会改革の手綱、取り組みを怠ってはならない思いがした。今後の活動の糧としたい。